

一般社団法人サステナブル経営推進機構 環境経営レポート

2023年度

発行日：2023年12月12日

対象期間：2023年9月1日～11月30日



一般社団法人サステナブル経営推進機構
Sustainable Management Promotion Organization

目次

項目	ページ
組織概要及び対象範囲	2
実施体制	4
役割・責任・権限	5
環境経営方針	6
環境経営目標及び計画	7
環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価	8
取組結果とその評価	9
次年度の環境経営目標及び環境経営計画	10
環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟などの有無	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12

組織概要

【事業者名】 一般社団法人サステナブル経営推進機構

【代表者】 理事長：石田 秀輝 専務理事：壁谷 武久

【所在地】 本部：東京都千代田区内神田1丁目14番8号 KANDA SQUARE GATE 4階
名古屋オフィス：愛知県名古屋市中区金山 1-12-14 金山総合ビル7階
岡山オフィス：岡山県岡山市北区津島中1丁目1番1号（岡山大学津島キャンパス内）
岡山大インキュベータ210号室

【環境管理者氏名および担当者連絡先】

環境管理責任者 小林弘幸 環境事務局 伊藤聖子

連絡先：kikaku@sumpo.or.jp

【事業の概要】

地球環境問題等、社会課題解決に繋がる新たなビジネスモデルの企画、実行、評価、改善等の支援を通じて持続可能な事業活動の実現を目指し、もって世界共通課題である持続可能な開発目標の達成の推進を図ることを目的とし、地球環境問題等、社会課題解決に繋がる事業の調査研究、計画策定、検証評価、市場開拓およびその達成に必要な事業を実施しています。

【事業規模等】 2022年度売上高 約5億6千万円

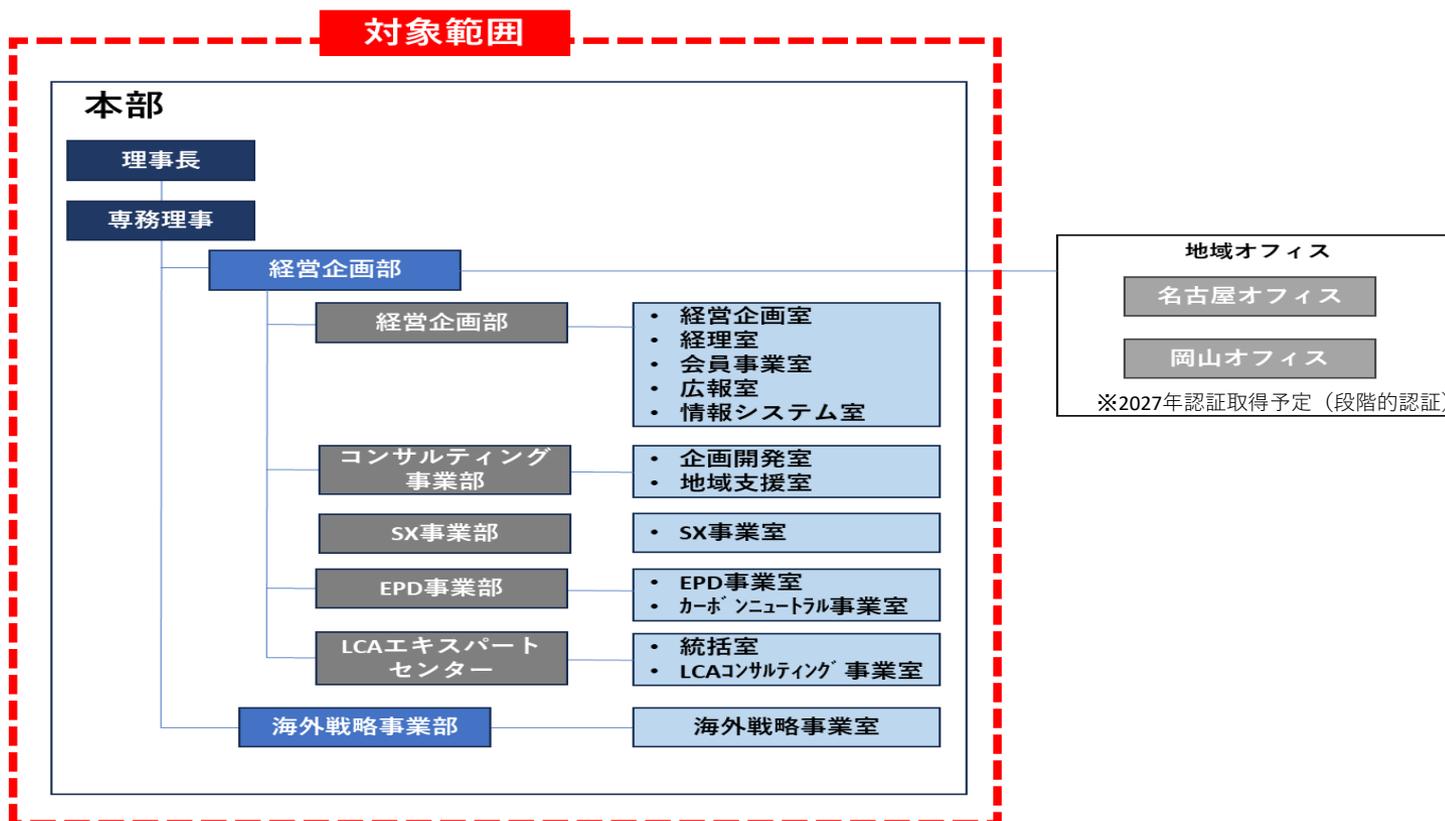
【各事業所の所属人数】

本部：46名／名古屋オフィス：1名／岡山オフィス：1名

組織概要 エコアクション21 対象範囲

【認証・登録範囲】

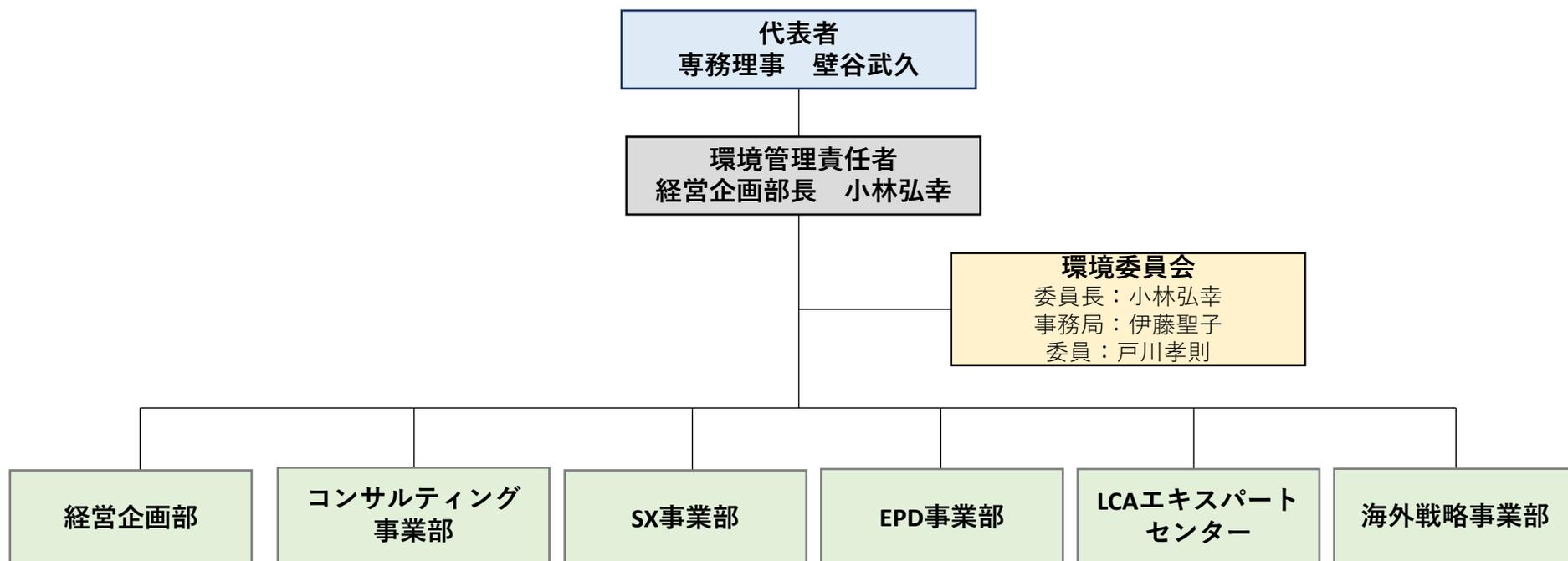
SuMPO本部が管理運営する施設における事務事業全般を対象とし、環境マネジメントシステムの構築、運用、維持を行います。対象者は管轄施設に勤務する全ての者とし（役員、派遣職員、アルバイト等を含みます）。名古屋オフィスおよび岡山オフィスは対象外とします。



【対象期間】 2023年9月1日～2023年11月30日

実施体制

環境方針を実践するために、全体の推進組織として「環境委員会」を設置し、代表者、環境管理責任者をトップとする環境マネジメント体制を構築します。環境委員会は、全社の環境配慮活動の状況を把握し、各部の状況を見て具体的な取組、対応策の推進を行います。



役割・責任・権限

名称	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営方針の策定及び誓約（要求事項3） ・環境経営を実施するための実施体制の構築、全従業員へ周知（要求事項7） ・経営における課題とチャンスの明確化（要求事項2） ・実施及び管理に必要な経営資源（人、もの、資金、情報等）を用意（要求事項7） ・環境管理責任者を任命 ・代表者による全体評価と見直しを実施（要求事項14） ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステムの構築・運用 ・環境目標・環境経営活動実施計画の設定 ・教育実施を指示 ・環境上の緊急事態への準備・対応 ・環境経営レポートの作成 ・問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・エコアクション推進の事務 ・環境マネジメント研修の実施 ・環境への負荷及び取組チェック表の作成 ・環境関連法規等のとりまとめ表の作成と遵守評価の実施 ・環境関連文書・記録の管理 ・環境活動の審議及び実績の確認・評価
環境委員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・環境への負荷及び取組の自己チェック表を職員に配布・回収集計し、環境委員会へ報告 ・環境関連法規等の遵守状況をチェックし、環境委員会へ報告 ・自部門の問題点の発見・是正・予防処置
全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を理解し、環境への取組の重要性を自覚（要求事項3，6） ・環境委員会で決められたことを遵守し、各自の役割を実施 ・環境経営活動へ自主的・積極的に参加

環境経営方針

経営理念

心豊かな未来をSuMPOの業で創ります

基本理念

「経営理念」に従い、中立かつ公正・公平な立場を貫き、社会に生ずる「間」を繋ぎ、新たな価値創造を実現するため、環境に配慮した事業活動と人類の持続的な発展、持続可能な社会づくりに貢献します。

基本方針

環境保全に関わる法令を遵守するとともに、多様な主体との連携、協力関係を構築して環境の改善を進めます。環境管理システムの運用にあたり、以下の方針を定め、職員全員で継続的改善に取り組みます。

- 1.電気・水の使用量を削減します。
- 2.資源消費の削減・資源の有効利用を促進し、廃棄物の発生量を削減します。
- 3.事業を通じ、顧客の環境活動の推進を支援します。

制定 2023年9月1日
一般社団法人サステナブル経営推進機構
代表理事 壁谷 武久

環境経営目標及び計画

環境経営目標		活動計画	取り組み内容
電力使用量の削減	 <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>	2023年上半期比1%の削減を行う	<ul style="list-style-type: none"> 退勤時消灯・電源オフの周知徹底 残業の削減（事務所退勤時間の早期化）によるエネルギー消費削減
情報紙使用量の削減	 <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p>	2023年上半期比1%の削減を行う	<ul style="list-style-type: none"> 電子帳簿システムの導入による紙申請書類の削減 Web会議等の活用
水使用量の削減	 <p>6 安全な水とトイレ を世界中に</p>	2023年上半期比1%の削減を行う	<ul style="list-style-type: none"> パントリー、トイレ等での節水の掲示 トイレ用祇園装置の活用
廃棄物発生量の削減	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	2023年上半期比1%の削減を行う	<ul style="list-style-type: none"> リユース・リサイクル可能なエコデザイン設計製品の選択 リースやレンタルの活用

環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

2023年9月～11月（3か月）

○：達成 ×：未達

環境経営目標	SDGs項目	活動計画	基準値※1	目標値	活動実績	評価
CO2排出量※2		—	4.28t-CO2	4.24t-CO2	4.14t-co2	—
電力使用量の削減		2023年上半期比1%の削減を行う	9,492kWh	9,396kWh	9,177kWh	○
情報紙使用量の削減		2023年上半期比1%の削減を行う	12,717枚	12,588枚	10,811枚	○
水使用量の削減		2023年上半期比1%の削減を行う	54.9m ³	54.3m ³	59m ³	×
廃棄物発生量の削減		2023年上半期比1%の削減を行う	324kg	321kg	293kg	○

※1：本年度は対象期間を2023年9月-11月の3か月間としたため、基準値は2023年上半期の実績値より1月あたり平均値を算出し、その3か月分の値としています。

※2：環境省 電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)のR3年度実績より東京電力エナジーパートナー(株)の参考値を使用して算出しています。

取組結果とその評価

環境経営目標	SDGs項目	取り組み内容	取組結果※	評価
電力使用量の削減		退勤時消灯・電源オフの周知徹底	△	<ul style="list-style-type: none"> 退勤時、室内照明の消灯は徹底できたものの、サーキュレーターや執務中の会議室の電源オフ忘れが散見されました。 残業時間の削減はQOLのためにも重要な項目であり、引き続き注視してまいります。
		残業の削減（事務所退勤時間の早期化）によるエネルギー消費削減	○	
情報紙使用量の削減		電子帳簿システムの導入による紙申請書類の削減	○	<ul style="list-style-type: none"> 2023年10月より電子帳簿システムの導入により、社内申請に伴う用紙使用の大幅削減に成功しました。 会議における配布資料のペーパーレス化は委員会等の開催方法によるところが大きいため、今後取引先との協議が必要と考えます。
		Web会議等の活用	○	
水使用量の削減		パントリー、トイレ等での節水の呼びかけ	▲	<ul style="list-style-type: none"> パントリー、トイレに節水掲示を行い注意喚起を行いました。 コロナ、インフルエンザ等への対策もあり、無理のない範囲での節水の継続を呼びかけてまいります。
		トイレ用擬音装置の活用	▲	
廃棄物発生量の削減		リユース・リサイクル可能なエコデザイン設計製品の選択	○	<ul style="list-style-type: none"> LCAの視点によるエコデザイン設計製品のへの知識を高め、廃棄に回らない製品導入の意識づけを行いました。
		リースやレンタルの活用	○	

※○：活動、数値ともに達成 △：数値目標は達成したが、活動に不備あり ▲：活動はできたが数値目標は未達 ×：活動、数値ともに未達

次年度以降の環境経営目標及び環境経営計画

対象期間：

第2期 = 2023年12月1日～2024年11月30日

第3期 = 2024年12月1日～2025年11月30日

第4期 = 2025年12月1日～2026年11月30日

環境経営目標	SDGs 項目	活動計画	基準値 (第1期実績 値)	第2期目標 値	第3期目標 値	第4期目標 値
電力使用量の削減	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	第1期を基準値とし、以降 毎年1%の削減を目指す	37,499kWh	37,124kWh	36,752kWh	38,385kWh
情報紙使用量の削減	15 陸の豊かさも 守ろう 	第1期を基準値とし、以降 毎年1%の削減を目指す	48,003枚	47,523枚	47,048枚	46,577枚
水使用量の削減	6 安全な水とトイレ を世界中に 	第1期を基準値とし、以降 毎年1%の削減を目指す	225m ³	223m ³	221m ³	218m ³
廃棄物発生量の削減	12 つくる責任 つかう責任 	第1期を基準値とし、以降 毎年1%の削減を目指す	1,250kg	1,238kg	1,226kg	1,213kg

※データ収集の開始時期が2023年4月～となっており、2023年12月時点で1年間のデータが不足していることから、基準値は2023年4-11月の実績値より1月あたり平均値を算出し、その12月分の値としています。

環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

適応される法規制	適応される事項	遵守状況	確認日
消防法	消防設備の設置、維持、火器の使用または取り扱いに関する監督。通報活動、消火、通報および避難訓練の実施	遵守	2024/2実施予定
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物及び産業廃棄物の減量、分別、適正な処理を行う	遵守	2023/11/30
家電リサイクル法	特定対象品目（冷蔵庫、エアコン等）の長期使用を心がけ、廃棄する際は小売業者か認定事業者に引き渡し適正処理を行う	遵守	2023/11/30
容器包装リサイクル法	トナーボトル、ペットボトルの分別収集、再商品化物の使用に努める	遵守	2023/11/30
小型家電リサイクル法（努力義務）	小型電子機器等（PC、プリンタ、ディスプレイ、デジカメ、携帯電話等）を廃棄する際は、分別しての排出し、認定事業者もしくは再資源化業者に引き渡し、適正処理に努める	遵守	2023/11/30
資源有効利用促進法（努力義務）	特定対象品目（PC）を廃棄する際は、メーカーもしくは認定事業者に引き渡し、適正処理に努める	遵守	2023/11/30

2023年9月～2023年11月まで環境関連法規違反、訴訟等はありません。

また、同期間において、外部からの苦情等はありません。

消防訓練の実施スケジュールは、入居先ビルの実施計画によります。

代表者による全体の評価と見直し・指示

【全体評価】

初年度の活動により、組織における環境の実態把握、課題が社内に共有されたことは大きな意義があったと思います。

今年度は最初ということもあり必須項目に重点を絞りましたが、次年度以降、EMSに関する全職員の理解を深め、各部門ごとの目標管理の必要性や、サステナビリティ経営コンサルティングを掲げるSuMPOならではの取組について検討を行い、より高いレベルを目指してまいります。

【見直しと指示】

- ・ 環境方針
変更なし
指示事項：特になし
- ・ 環境目標
変更なし
指示事項：特になし
- ・ 環境活動計画
変更なし
指示事項：SuMPOおよびその部門の特色を反映した計画の立案の検討を実施する

2023年12月1日
一般社団法人サステナブル経営推進機構
代表理事 壁谷 武久